



ラート情報誌「わっ！」

第31号 2012年春

ラート協会オフィシャルホームページ <http://www.rhoenrad.jp> e-mail office@rhoenrad.jp

第6回世界チームカップ



3月30日 スイス(Baar)、4月1日 ドイツ(Ramstein)で『第6回世界ラートチームカップ』が開催されました。

各国4名の選手が計6演技を行い得点を競いました。1ラウンド(各国1演技)ごとに得点の高い国から順に4~1ポイントを獲得し、その総合ポイントで順位が決定するという方式でした。

チームカップは“ジョーカー”となる演技を1つ選ぶことができ、その種目で獲得したポイントは2倍になります。単純に同じ種目で争う大会ではなく、演技順やジョーカー選出等の作戦も必要であるというのがチームカップの特徴です。

2日目には3位に大差をつけ、強豪ドイツに1ポイント差で銀メダルを獲得しました。

【結果】

1日目

金	ドイツ	24ポイント
銀	オランダ	18ポイント
銅	日本	17ポイント
4位	スイス	15ポイント

2日目

金	ドイツ	23ポイント
銀	日本	22ポイント
銅	オランダ	15ポイント
4位	スイス	14ポイント

選手(種目)	得点(ポイント)
森 更紗 (斜転)	7.10 (1)
田村 元延 (直転)	11.50 (4×2)
湧田 舎大 (跳躍)	7.95 (2)
堀口 文 (直転)	7.50 (1)
田村 元延 (斜転)	7.45 (2)
森 更紗 (直転)	9.65 (3)

選手(種目)	得点(ポイント)
森 更紗 (直転)	10.35 (4)
湧田 舎大 (跳躍)	8.85 (3)
田村 元延 (斜転)	8.00 (2)
田村 元延 (直転)	11.55 (4×2)
森 更紗 (斜転)	8.45 (2)
堀口 文 (直転)	9.90 (3)

(結果詳細 1日目: http://rhoenrad.com/irv/wp-content/uploads/2012/03/TWC2012_Baar.pdf)

(結果詳細 2日目: http://rhoenrad.com/irv/wp-content/uploads/2012/04/TWC2012_Ramstein.pdf)

日本選手団の感想を紹介します。

琉球大学 4年 湧田 舎大 (跳躍)



チームカップに参加出来たこと感謝しています。今回はチーム戦ということもあり、普段以上にプレッシャーを感じていました。スイス大会では、ミスもありましたが、ドイツ大会ではチームがより団結して大会に臨み、持てるベストな演技を出せました。

今大会で感動、情熱、悔しさ、感謝色んな想いを感じ、学びがありました。この学びをこれからに活かしていけたらと思います。いつも応援、サポートして下さい皆様心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



筑波大学体操部 4年 堀口 文 (直転)



今回初めて選手としてチームカップに参加させていただきました。1日目のスイス大会では、床との調整がうまくいかず自分の目指す演技をすることができませんでしたが、2日目のドイツ大会では日本チーム全員が力を発揮することができ、ドイツと1ポイント差で2位という結果をいただくことができました。2日目の試合では、自分が日本の最終演技者ということもあり少し緊張していましたが、頼もしい先輩方が日本チームに良い流れを作ってくださっていたので、思いきって演技をすることができました。このような貴重な経験ができたのも、日本からご支援、ご声援をくださった方々、現地でサポートしてくださった方々のおかげです。心から感謝申し上げます。この経験を決して無駄にしないよう、これからも精進していきたいと思っております。ありがとうございました。



白鷗大学/常葉短期大学 非常勤講師 田村 元延 (斜転・直転)



2回目のチームカップは、個人選手権とは違い、「チームで闘う良さ」改めて感じた大会でした。今大会も練習からチーム全員で助け合い、試合中はミスカバーし合いながら、日本チームの最大限の力を発揮できたと感じています。今大会2日目のドイツラウンドにおいて、常勝ドイツと1pt差の2位に入賞した結果は、その「日本のチーム力」を物語るものと言えます。この「チーム力」を次の世代にも託していきたいと今大会を終え、私は感じています。そのためにも、今後、この経験を、日本ラート界に少しでも還元できるよう努めていきます。

今回、たくさんのご支援があったこと心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



たまラートクラブ/遊学の里ラートサークル 指導員 森 更紗 (斜転・直転)



「日本の力」

今回初めてリーダーを任されての大会でしたが、今までで一番充実した遠征となりました。これも皆様のご支援あつてのこと、大変ありがたく存じます。

1日目の試合で、日本チーム本来の力を出せず3位になった時は、リーダーとして力不足かと自信を失いかけてました。しかし、2日目の試合で、絶対成功すると全員が信じ、助け合い、全力の演技をし、最高の結果を出すことができました。団体戦は責任が重い分、喜びが何倍も大きいです。そして、日本が団体優勝する日も遠くないと確信できました。

応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。今後も競技者及び指導者として精進して参りますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



***** 「あたたかいご支援をありがとうございました。」 *****

この度、第6回世界ラートチームカップ大会日本代表選手団のために、あたたかい応援金を賜りましてありがとうございました。ここに礼申し上げます。

- ～ ご支援いただいた方 ～ (五十音順)
- 大島林子 様、 安西映子 様、 加藤和子 様、
 - 小原圭子 様・瑞季 様、 田村千佳子 様、
 - 西井陽平 様、 長谷川聖修 様、
 - 檜皮道弘 様、 本村三男 様・みどり 様、



3月11日 かしまカップ2012 及び チームカップ試演会(高松緑地体育館)



春季ラート講習会

2012年3月『春季ラート実技講習会』を行いました。初めての参加者が数多く集い、賑やかな講習会になりました。



3月3～4日 一般対象(手賀の丘少年自然の家)



3月9～10日 学生対象(高松緑地体育館)

今年度も大会・講習会など催しが沢山ありますので、ぜひご参加下さい。

ラートの輪

高橋靖彦選手



昨年度活躍したスポーツパーソンや団体を表彰する「つくばスポーツ大賞 2011」でグランプリを受賞した、筑波大学体操部の高橋靖彦選手からコメントをいただきましたので紹介します。

Q、つくばスポーツ大賞とは？

(HPより抜粋)今年活躍したスポーツパーソンや団体を表彰することで、地域スポーツ関係者に限らず、多くの地域住民にその取り組みをPRし、スポーツコミュニティを活性化する。また、競技成績だけでなく地道な活動や手本にすべき活動にもスポットを当て、子どもから高齢者まで、地域住民に夢と希望を与える取り組みを紹介することで、研究、教育に次ぐ「スポーツの街つくば」の構築を目指すことを目的とする。

Q、グランプリ獲得の決め手はなんだったのでしょうか？

競技成績だけで選ばれた訳ではなく、地域の体操教室や小学校・児童館での活動、また、第1期 World Challengersメンバーに選出されたことなど、地域貢献活動や競技普及活動が受賞の決め手だったようです。

Q、全国各地のラート仲間にメッセージをお願いします。

これからも、ラート好きの皆さんと一緒に、地道に、そして確実に、ラートの輪を広げていけたらいいなと思います！

高橋選手は3月10日にアメリカのシカゴで行われたUS Open Competitionにも参加し、素晴らしい成績を残しています。(直転優勝 12.9点、斜転優勝 10.75点) 今後の国内外での更なる活躍を楽しみにしています。

【事務局便り】

◎「第6回世界チームカップ」の映像(DVD)販売のお知らせ

1式 3,150円＋送料

《お問い合わせ先: 日本ラート協会》

〒187-0023 東京都小平市上水新町 2-27-30

電話: 042-349-2024

FAX: 042-349-2524

e-mail: office@rhoenrad.jp

◎ 今年度の主な行事

- | | | |
|---------------------|---------------|---------------------|
| ・ 第8回全日本学生ラート選手権大会 | 日程: 8月25～26日 | 場所: 中京大学豊田キャンパス大体育館 |
| ・ 夏季ラート実技講習会(学生向け) | 日程: 8月27～28日 | 場所: 中京大学豊田キャンパス大体育館 |
| ・ 夏季ラート実技講習会(一般向け) | 日程: 9月8～9日 | 場所: 遊学の里手賀の丘少年自然の家 |
| ・ 第18回全日本ラート競技選手権大会 | 日程: 12月15～16日 | 場所: つくば市カピオアリーナ |
| ・ 春季ラート実技講習会(一般向け) | 日程: 3月9～10日 | 場所: 遊学の里手賀の丘少年自然の家 |

【編集後記】

新年度がスタートしましたね。各団体、メンバーは増えましたか？今年度もラートの輪を広げていきましょう！

今年は遠出して、いつもと違うメンバーとも一緒に回りたいなあ…と思っています。

お邪魔した時には仲良くして下さいね♪

ラート協会広報部会委員 但馬 絵美子

